



福岡町立
柳田國男・松岡家記念館
〒679-2204
神崎郡福岡町西田原
1038-12
電話：0790-22-1000

企画展 松岡映丘画稿展 〜歴史に登場する人物〜



松岡映丘「間宮林蔵」

記念館では、4月18日(土)〜5月31日(日)まで、松岡映丘画稿展を開催します。
今年のテーマは、歴史に登場する人物です。映丘は幼少のころから歴史に関心をもち、学んでいました。
そして、映丘は雑誌に掲載された歴史画を手本にして描いたり、鑑賞することが好きだったようです。

松岡家資料 調査報告

今年、柳田國男の長兄である松岡鼎生誕155年という節目の年です。そこで記念館では、7月25日(土)から11月23日(月・祝)を会期に、記念展「松岡鼎展(仮称)」を開催する予定です。
この展示を開催するのに先立って資料調査を行ったところ、松岡鼎が医者として、地方政治家としての足跡を示す資料や、松岡五兄弟の交流を示す書籍、絵はがきなど、貴重な資料を新たに確認することができました。
柳田國男生誕の地 福岡町で、松岡家を支えた松岡鼎という人物の功績や人物像を、さまざまな資料でお伝えします。ぜひ、楽しみにお待ちください。



柳田國男・松岡家記念館

☆☆入館案内☆☆
☆開館時間
9時〜16時30分
(入館は16時まで)
☆休館日
月曜日、祝日の翌日
12月28日〜1月4日
☆入館料
無 料



調査のようす

名作著書紹介 故郷七十年を 読む



國男と兄の鼎は、15歳の兄弟でした。
『故郷七十年』には、15歳は子どもが一人前になる区切りの年齢であることを伝えるために、鼎の話が紹介されています。
鼎が近所の子どもと鬼ごっこをしていると、母のだけが「十五歳にもなって・・・と 責をしなければ。すると、鼎は「タバコ入れを買っておくれなら」と答えました。
この鼎の答えを聞いた尾芝の祖父(母だけの父親)が「もつともなことだ。おれが買ってやろう」といったといひます。
つまり、鼎はタバコ入れを買ってもらったことで、子どもから大人への区切りとしようとしたのです。
このように、鼎自身が一人前の大人であるという意識をしたときに、弟の國男が生まれました。

奈良県立万葉文化館展覧会 松岡映丘一古典美の再興一

会 期：5月10日(日)まで
休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休館)
会 場：奈良県立万葉文化館 日本画展示室
入館料：大人600円、高校・大学生500円、小中学生300円

左記のとおり、当館所蔵の松岡映丘作品21点と、映丘の写真パネル1点が、奈良県立万葉文化館で展示されています。
展示については、奈良県立万葉文化館(TEL 0744-54-1850)までお尋ねください。

館日記

